



ソメイヨシノはすっかり葉桜になり風かおる五月になりました。世の中の喧騒をよそに季節は巡ってきます。私達もそろそろ活動を始めようと思います。今年度の医療福祉協のテーマ「誰もが健康で居心地よくくらするまちづくりへの挑戦」を参考に出来ることから始めます。

4月の高陽西支部だよりでお知らせしました高陽西支部総会に多数ご参加ください。

### 高陽西支部総会



日時：5月23日(月) 10時～11時30分

場所：あすなろ生協診療所2階みんなの部屋

学習会：「介護全般について」講師：今岡由就ケアマネージャー

申込締切：5月10日(火)

\*当日お弁当を用意しますので、**出席の連絡**をお願いします。

\*班会援助金をお渡しします。班から一名以上出席して下さい。

\*状況によっては中止・延期の場合はご連絡いたします。

### わたしの健康法

私は車の免許を持っていないので、出掛ける時は公共交通機関をできるだけ利用しないように自転車・・・電動自転車ですが(笑)・・・で移動しています。いろんな所に出没するので驚かれます。自粛している時はYou Tubeなどをみて体を動かしていました。筋肉が弱くなるのはすぐですが、つけるのは大変ですからね。(川本)



勾玉と管玉

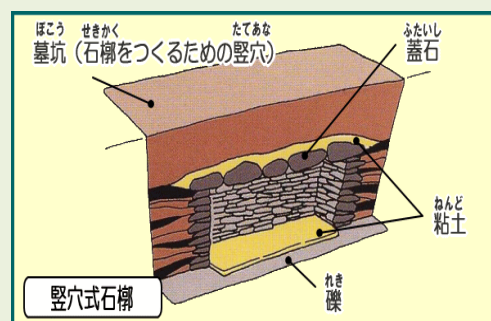
「中小田古墳群」は、歴史を解明する重要な手がかり④

### 史跡中小田古墳群の新たな判明

### 同一丘陵上に200年近く古墳が継続して築造された古墳群

国の史跡に指定され20年以上が経過し、その後の調査で判明した新たな価値評価の一つを紹介します。

副葬品や埋葬が木棺直葬であることから4号古墳は、3世紀後半に築造されたと想定され、勾玉石(まがたま)、管玉(くだたま)などの豊富な玉類が副葬された第1号古墳は4世紀中旬、第2号古墳は甲冑と鉄鍬(すき)の形態から5世紀中旬と考えられます。第2号古墳に近い構造の竪穴式石槨(せきかく)から鉄剣が出土した第3号古墳も同時期の築造と推定され、その後、墳丘外表施設として葺石(ふきいし)を施した第5号古墳と第6号古墳が築造され、5世紀代の古墳と相前後する時期に同じ尾根上に第7号古墳・第8号古墳・第13号古墳が継続して築造されました。



葺石(墳墓を覆う施設)

この様に、史跡中小田古墳群は約500mの範囲の丘陵上に、3世紀後半から5世紀中旬までの期間に、12基の古墳が次々と造営された日本でも数少ない古墳群であることが判明しています。

(※「史跡中小田古墳群保存活用計画」より引用)

文 山根 康裕